

弓道ながの

第92号

発行：長野県弓道連盟
会長 松島貞治
〒399-1801
下伊那郡泰阜村4139
TEL0260(26)2628
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進社

巻頭言

新年を迎えて——不発の中——

長野県弓道連盟会長 松島 貞治



令和七年の新年を迎えおめでとうございませう。昨年一年間、病気で皆さんに迷惑をかけたかもしれません。副会長を中心として、大事な事業をこなしていただき本当にありがとうございます。まだ回復には、しばらく時間がかかりそうです。

昨年、会員が千二百名を超え前年を上回りました。各支部のご努力に敬意を表します。また、錬士が多く誕生し、長野県弓道連盟のこれからの礎になると思います。昨年、顧問である土川俊市先生が他界され、支部対抗の日が葬儀と重なり、先生と

弓との縁を感じました。その土川先生のことには触れたいと思います。先生は、木曾の榑川村役場、私は泰阜村役場の職員でした。同業ですが何より勤労者選手権大会の仲間でした。選手五人の時代に、村役場出るのは、榑川村と泰阜村でした。そんな縁で榑川村役場弓道部とは親しくしてもらっていました。当時を懐かしく思い出します。その後、土川先生とは国体に一緒に出場したことがあります。昭和五十九年の奈良国体です。もう大会スローガンも思い出せませんが一度きりの国体でした(私は昭和六十年が一番中つた年ですがその年は予選落ちでした)。長野県成年男子は土川先生を大将に全国優勝しました。

その出場した国体ですが、松島、仁科、土川の三人で、その時に土川先生に何を言われていたのかという「中るまで離すな」です。その後も中りの話になると、中るまで離すな、と言われ続けました。土川先生に言わせると会で持っている「的が寄ってくる」といいます。

あとと思いますが、土川先生の射を表現すれば「外さない」射と言えらると思っています。的が寄ってくるまで待っている土川先生はほんと外さなかつたという思い出があります。弓士の皆さん、的が寄ってくるまでがんばる二〇二五の射で、今年一年活躍してください。

卷藁くらいの距離なので外れない、のだそうです。身も心も寄っていつてしまう私の射では分からない世界です。その国体の成年女子二名は飯田女子OGで高島先生(富山県氷見市在住、昨年七段に)が飯女の監督として活躍の時代。いただいた飯田女子校の弓道教化読本に「他念なく的を拳に引き付けて 発たぬ内に中りこそあれ」(大和流小的全艦)があり、不発の中のことを知識としては知っていたものの、それを実践したのが土川先生でした。最近の若手国体選手をみてよく中るな



奈良わかくさ国体 左から松島、仁科、土川

祝
遠的選手権2位

強運を味方に

教士六段 亀岡英司

今年は栃木県宇都宮市のユウケイ武道館での開催でした。二年前、初めて長野県が出場できなかった栃木国体の開催地です。悔しさのあまり時が止まったような秋でした。

国スポのサポートを終えて佐賀から戻った十月九日、大活躍の選手へ全振りしていた意識を自分へ戻すところから再スタートでした。なぜか突如として全然飛ばなくなったメインの弓をあきらめて、サブ弓が実戦デビューです。迷いと焦りの中での出陣でした。

仕事の都合で仲間から少し遅れて前日練習に臨み、そこそこやれそうな手



ごたえにホツとする。

十月二十六日 予選

6射（一手1回・四つ矢1回）

4中（ほぼアウトから）遠近通過

「弓道は待ち時間との勝負」と誰かが言っていました。予選が終わる頃はもう真つ暗。残念なことに待ち時間など無関係にダメな予選でした。外した二本は的の後ろのネットを揺らししました。落胆とともに控室に戻り、数人にLINEで「ダメでした」と報告をして座っていると、何やらざわつき始めました。4中が遠近競射になるとい

う情報。チャンス到来。さっきの予選5射目（遅い）で掴んだ感覚とともに気持ち再点火。四人通過枠を二十三人で取り合う「運しかない勝負」でしたが、係の方の手に自分の矢がある奇跡。四度目の挑戦で初の決勝進出。今日はここまで。明日のことは明日考える。スイッチオフ。

十月二十七日 決勝

10射（一手5回）

9中 遠近1位 2位入賞

周りは猛者だらけですが、気後れし得るものなどあるはずもなく。心の奥底から「ちょっとしかない勇氣」を必死に絞り出し、切らさないことを胸に誓いました。結果的には十二時に外した1射も含め、5回10射すべて攻め切りました。達成感は十分でしたが、これだけで入賞とはならないのが全日本。皆中で優勝の一人を除き、入賞4枠を五人で取り合う遠近に。全身を支配しそうな欲との攻防戦と、今できる精いっぱい射。会場で応援してくれた仲間の想いを乗せ、不思議なくらい真ん中へ（実は途中から見えていない、主に岩村選手の「おおー」の声でいたい確信）。

今回は強運と味方の後押しで2位入賞できたわけですが、そのほかにもこの数年で自分を強くしてくれた二つの

ことがあります。

①国スポ（国体）で監督・選手・観客席の全部を経験してきた

②一昨年から強化部で実施している加藤先生のメンタルトレーニング

そして決勝前に、二〇一七年に志村選手が「七本目にどっつつかずの射をして天皇杯を逃した」と書いていたことを思い出して決意新たにしたのも大きかったです。得るものばかりの選手権でした。しかしながら遠的とはいえずもう少し会の充実を練習しないと。反省。

最後に、当地で応援してくれた長野県の仲間たち、動画中継（あれほんとは残酷ヤダ）を見ながら応援してくれた皆様、世話になっっているすべての皆様、ありがとうございました。



寄稿

三年生送別納射会を終えて

駒ヶ根市スポーツ協会弓道部 赤穂高等学校弓道部外部コーチ 竹村 直人

令和六年七月二十九日(土)、駒ヶ根弓道場にて外菌公毅先生のご協力のもと赤穂高校弓道部の三年生送別納射会を行いました。納射会は、前弓道部の部長(宮下遼也)による矢渡から始まり、学年対抗の競射会(一年生対三年生)、最後に扇的と板割を行

い、三年生にとつての高校弓道の締めくくりとなる射を駒ヶ根弓道場へ納めさせていただきました。当日は、生徒だけでなく多くの保護者の皆様が道場へ足を運んでくださり、大会や試合以外ではなかなか目にする事ができない「生徒が弓を引いている姿」を間近で見

ていただくことができました。参加した三年生の中には、春の高校総体ぶりに弓に触れる生徒もあり、彼らが和気あいあいと久しぶりの弓道に夢中になっている姿は、太陽の光る夏の青空よりも眩しく輝いていました。



きました。参加した三年生の中には、春の高校総体ぶりに弓に触れる生徒もあり、彼らが和気あいあいと久しぶりの弓道に夢中になっている姿は、太陽の光る夏の青空よりも眩しく輝いていました。

一人でも多くその楽しさを知ってほしい、そんな気持ち一つで未熟な身ながら弓道部の外部コーチになりました。コーチとして、上手くないかないこと、自分自身の力不足を痛感することも少なくありません。ですが、そんな時ほど生徒たちの真つすぐの向き合う姿や、ひたむきに弓道に取り組む姿を見て、私自身が弓道の楽しさを思い出す…、これまで三年生と過ごした日々とは、そんな教学半の言葉を実感する日々でした。まだまだ足りないことの多いコーチですが、三年生とともに過ごした日々を胸に、時に弓道の楽しさを伝える指導者として、時に成長を共に目指す伴走者として、これからも精進して参りたいと思います。

最後に参りますが、今回の納射会を開催するにあたり、外菌先生には昨年に引き続き納射会の当日だけでなく扇的の製作や、矢渡の練習といった納射会の企画、準備の段階からご協力をいただきました。本当にありがとうございます。



いました。この場をお借りして、赤穂高校弓道部一同より感謝申し上げます。



謹賀新年

遠的ダンボール白黒 (79cm・100cm)
遠的ダンボールカラー (100cm)

〒380-0935
長野市中御所1-12-5
TEL ▶ 026-228-3443
FAX ▶ 026-223-4855
通常 ▶ 8:00~18:00
日・祝 ▶ 8:00~17:00
定休日 ▶ 月曜日

全日本弓道具協会会員



有限会社 中島弓具店

URL ▶ <http://www.nakajima-kyugu.com>

E-mail ▶ info@nakajima-kyugu.com

令和6年

第78回

国民スポーツ大会 SAGA2024



強化部長 永藤 聡

令和六年第七十八回国民スポーツ大会SAGA2024に参加してきました。

国民体育大会から国民スポーツ大会となつて初めての大会です。メダルやMVP賞など目新しいこともありましたが、やはり練習会場は用意してもらえず、福岡県や長崎県まで練習会場を求めて遠征しました。宿泊も福岡県で、会場まで一時間と選手には移動だけでたいへんな負担をかけました。それをものともせず、少年遠的優勝、成年近的準優勝・遠的5位、天皇杯3位という活躍をしていただきました。ありがとうございます。

出場選手に感想を書いてもらいました。感謝の言葉が多い気持ちの入った文章です。読んでいただければ幸いです。

少年男子



写真提供：公益財団法人 全日本弓道連盟



1番立 酒井 大貴(池田工業高校三年)

この度私はSAGA国スポ2024に少年男子の選手として出場させていただきました。遠的の部で優勝することができました。

私は国スポのことを全く知らない状態からのスタートで合宿だったり試合などのこと全てが初めての経験で全てがとても楽しかったです。その一つ一つの出来事や経験が自分自身を強くしていったと思います。

大会の時に伊藤監督が「一本一本丁寧に今までで一番いい弓を引いてきてちょうだい」と言ってくれださり緊張がほぐれ、一本一本に集中し最高の弓を引いてくることができました。この言葉は今後の弓道人生で大切にしていきたいです。

今回のこの優勝は自分一人だけでは到底できませんでした。丸山、登内、伊藤監督や今まで応援してくださった方々、練習と一緒に弓を引いてくれた方々に本当に感謝します。SAGA国スポありがとうございました！

2番立 丸山 志文(長野日大高校二年)

私は佐賀県で行われた第七十八回国民スポーツ大会に参加してきました。本国スポでは射場に入る前他の上手い選手や矢声を見聞きしてとても緊張しましたがこれまでの合宿、強化練習などやってきたことを発揮し、やれることはとことんやりました。また引くことが楽しみでソワソワしました。それはトーナメントが進めば進むほど無我夢中になってとて

追悼

土川俊市先生の追悼に寄せて

長野県弓道連盟副会長 宮坂 博之



先生との出会いは、平成十年頃のことでした。私は錬士六段でしたが平成十五年頃の県選手権で、先生と競射にもつれ込んだことがありました。上田の道場で第一射場に栗林先生、第二射場に山川先生が審判員で座っておられました。8射7中で土川先生と射詰め競射になり、霰的を4本8寸的を3本詰めていました。第二射場(五段以下)も射詰めをしていて、同じ様に二人で8寸的になっていました(当時は二人落としても射詰めのまま)。五段が二人で5本目からずっと落としていました。それを見て余裕はありませんが、ずっと第二射場の山川先生が振り返りながら第一射場の土川先生と私の

競射を見ていました。私が前で土川先生が後ろの立ちです。私は7本詰めて8射目を九時に抜きました。退場してくる中、後で「あつ!!」と叫び声がしました。土川先生が叫んだのです。私は見えていませんでしたが、デカイびくが出た。そのまま離してしまっただけです。ご自分で喋が見えたと言っていました。が、しかしその矢が中りました。控えに戻って「これは勝ちならんなあ」と言っていました。土川先生とお付き合いはここから始まりました。先生としてはこんな勝ち方で申し訳ないと言ったことではなく、中りだけの勝ち負けではなく、久しぶりに本気で弓が引けた、共に闘ったというような感覚だったそうです。それから先生には何かにつけ声を掛けていただけになりました。山川先生にもこの頃から面倒を見ていただけるようになりました。今の私のあるのはこの「あつ!!」のおかげのような気がしています。



県弓連の役員も一緒にやらせていただきました。そんな中、全日本選手権に参加する機会があ



りました。その年は伊勢神宮の道場の大会でした。結果は一次予選敗退でしたが、全日本選手権は出場する度に、弓の広さと深さを教えてくれました。土川先生には「全国に行って見てこいよ」と常々言われていました。他の先生からも田舎の弓ではダメだよと言われていましたから、何回かの選手権の経験は私の弓にとって本当に良い機会だったと思います。その伊勢から、先生に報告をしなければと思いい電話をしました。先生は留守で奥さんが電話に出られました。結果を伝えて欲しいと話しましたところ「それは残念でしたね。宅もそんなことは何回もありました。奥さんは多分審査がダメだったと思ったのでしょう。そう



言って慰めてくれました。先生は全日本選手権四位になっていますが奥さんにとっては全てが弓です。先生が審査から帰り「ダメだったよ」と言い「次で頑張れば」とお二人で話されている穏やかな声が聞こえてきます。
昭和の頃は、奈良井川の河原で土手に的を掛け朝六十射してから役場に行っていた。お酒は嫌いで卵が大好きでコーラが好きでカルピスが大好きで。優しいけど厳しい指導者で。それでも一刻などころはありました。国体を戦い、全日本を戦い、県弓連を支え、引つ張り、尽くしてきました。私以上に思い出のある方は沢山いらっしゃると思います。代表してお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。
まだ先生の声が聞こえてきます……

私と弓道

大北支部 吉岡 洋子

弓道との出会いは、高校生だった娘の弓道大会観戦です。観覧席から大会の様子を見て「観覧席でなく、射場に立ちたい」と思ったのが始まりです。娘が弓道から離れたのを期に、娘の弓具をそのまま使用し大町市弓道教室に参加しました。「習い事は、上達していく過程が面白い」と思っていたので稽古はとてもしませんでした。初段になって間もない頃、女性範士の矢渡を拝見する機会がありました。道場に射手が一步入った瞬間に場の空気がさっと変わったのを感じ、射手が退場するまで射手から目が離せませんでした。三位一体、真善美が具現化されていたのだと思います。弓道修練の目指すべき方向を示唆されたように感じました。しかし、上達や成長の曲線は常に



右肩上がりではありません。磔を変えたことをきつかけに矢所が乱れ、矢が安土に届かなくなった時期がありました。「今日こそは、」との思いで稽古に通うのですが全く良くなる兆しが見えず、何度も心が折れそうになりました。それでも、弓道を続ける事ができたのは、多くの人との出会いがあったからです。支部の枠を超えて、多くの先生方から指導をしていただけの恵まれた環境にも感謝しありません。さらに、県内各地で働く厚生連病院弓道部の一員となれた事が大きな力となりました。「スポーツで全国大会に出場したい」という学生時代の夢が思わぬ形で叶ったのです。

「弓道は人生を豊かなものにしてくれる」。正にその通りと実感しています。自分自身で限界やゴールを決めずに、講習会や審査も受け続け、ゆっくりじゅっくり弓道修練を続けたと思います。

祝射会 表彰者一覽

《敬称略》

本年度表彰者は以下の弓士の方々です。それぞれの場での活躍をお喜び申し上げます。

■全国大会入賞者

○第21回全国中学生弓道大会

・5位入賞

神田 和奏
丸山 詩葉
北澤 凜子
小林 世奈
長峰 哲

○第78回国民スポーツ大会

・少年男子 遠的優勝

酒井 大貴
丸山 志文
登内 琉真
伊藤 公二

・成年男子 遠的5位
近的2位

岩村 拓生
藤森千友貴
蟹澤 史弥
永藤 聡

○第74回全日本弓道遠的選手権大会

・優勝

岩村 拓生

○第75回全日本弓道遠的選手権大会

・2位

亀岡 英二

■昇格・昇段

・錬士

長岡 昌
柳澤 慎一
塚田 滉巳
小島 樹

・教士

内山 寿美
酒井 紳一
横澤 志織
窪田 和恵

・七段
平澤 敏弘

茅野 祐子
手塚信一郎

■最優秀支部

飯伊支部

明けましておめでとうございます

弓道合宿予約随時受付中!

帝産ロτζヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山 1003

HP : <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは0267-98-2861

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)

12人立2ヶ所

遠的道場 1ヶ所

弓仲間紹介

上小支部 五段 柳澤 真純

私が弓道を始めたのは、高校の部活です。父と姉がやっていたこともあり、興味を持ちました。部活動に入部すると同時に、東御市弓道協会にも入会し、弓道教室にも参加して行きました。部活動では、指導者がいなかったため、父や教室の先生方に一から教えていただき、弓道の楽しさを知ることができました。高校へは、何よりも弓道！そのために通っていたようなものです。弓道は、私にとってそれくらい大きな存在になっていました。高校卒業後、短大に進学。弓道部がなかったため、弓に触れる機会が減り、しばらく離れていましたが、審査を受けるため再開。心機一転し、また先生方に教えていただき、



再び現役時代の楽しさを思い出すことができました。正直、弓はもう引かないかな...と思っっていました。現在、私は、東御の弓道教室と母校で指導させていただいています。弓道初体験の方に、弓道の楽しさが伝わるようにするには、どうしたら良いか。弓道は感覚的なものですから、指導するにもとても難しいです。その人に合った伝え方を模索しながら、指導を行っています。が、正解がないのがまた弓の深さ。私自身も勉強になります。教えてもらっていた立場から教える立場にもっとたくさんの方が弓道に興味を持ち、その楽しさを感じてもらえるように、謙虚な姿勢で、日々精進していきたいと思っています(それ以前に私も弓を引かなくてはいけません)。少しでも地域や母校に貢献できたいれば幸いです。

いつでも快く教えてくださる先生方が身近にいてくださり、恵まれた環境があることに感謝しています。今や、例会や大会にしか顔を出さない人になっていますが、それでも弓道は私の人生の一部です。細々でも、大好きな弓道を続けていきます。

大会結果

第55回全日本教職員弓道選手権大会

神奈川・横浜大会

令和6年8月10日(土)・11日(日)

参加人数：高校162名、一般32名、合計194名

第70回記念 県下弓道岡谷大会

令和6年9月8日(日)

参加人数：高校162名、一般32名、合計194名

個人(8射)

▲高校

1位 高木 駿(東海大諏訪B)

2位 吉村 吟(諏訪二葉男子A)

3位 関島 橙哉(下伊那農業A)

4位 熊崎 茜音(諏訪二葉女子C)

5位 平沢かりん(下伊那農業B)

▲一般

1位 松村 和重(高校教員)

2位 西澤 徹(池田A)

3位 志村 仁(岡谷A)

4位 藤澤 敏恵(弓1みん)

5位 藤澤 英輝(御代田やまゆり)

▲団体の部

1位 諏訪二葉女子A(手塚葵、竹村咲那、林莉子)

2位 東海大諏訪B(森本裕太、池田陽城、高木駿)

3位 諏訪二葉男子A(矢島雄大、齊藤維吹、吉村吟)

▲一般

1位 弓1みん(藤澤敏恵、横澤志織、蓮井悟朗)

2位 高校教員(生田憲克、中村亮、松村和重)

3位 岡谷B(石原祐貴、上野曜、金子夏暉)

14中 15中 15中

第66回塩尻市武道大会

令和6年9月15日(日) 塩尻市弓道場

参加人数：高校25名、一般48名、合計73名

個人(8射)

▲高校・一般

1位 青木 喬雄(木曾義伸)

2位 松井 幸彦(安曇A)

3位 長岡 佑夏(塩尻志学館女子B)

4位 藤澤 千章(混成A)

5位 藤澤 敏恵(混成B)

▲団体の部(8射)

▲高校

1位 塩尻志学館女子B(長岡佑夏、降旗心愛、今井一花)

2位 都市大塩尻(太田悠斗、早坂暁佑、篠原正輝)

3位 塩尻志学館男子A(渡辺浩太、片平俊輔、小原銀之介)

▲一般

1位 安曇A(相馬孝寿、渡辺晃、松井幸彦)

2位 木曾義伸(林貴徳、青木喬雄、正澤好成)

3位 混成B(藤澤敏恵、蓮井悟朗、生田憲克)

8中 8中 9中 5中 5中 7中

第41回無相大師奉賛弓道大会 高校の部

令和6年10月6日(日) 中野市弓道場

参加人数：高校272名

男子(8射)

1位 山崎 斗(長野東C)

2位 金井 琉偉(長野東B)

3位 金知 秀(屋代B)

▲女子(8射)

1位 渡邊 優月(長野商業)

2位 清水 沙樹(長野日大E)

3位 外谷 天嶺(市立長野B)

▲団体の部(8射)

▲男子

1位 市立長野(竹内悠太、福澤蒼空、山田淳斗)

2位 屋代C(小山陽樹、秋田悠、西澤紀仁)

11中 12中

SAGA2024国民スポーツ大会弓道競技会

男女総合(天皇杯)
第3位 長野県 67点

種別・種目別
▲成年男子
近の 第2位
遠的 第5位
▲少年男子
近の 第1位

3位 長野日大B(石坂斗磨、羽生田真広、市川楓真)
10中
▲女子(8射)
1位 長野商業A(渡邊優月、清水佐保、山本莉子) 11中
2位 屋代C(酒井郁美、倉嶋詩月、原田沙枝) 11中
3位 長野日大E(齊藤真緒、北條花音、清水沙樹) 10中

第59回 池田町弓道大会(高校)

令和6年10月13日(日) 池田町弓道場
参加人数・106名

個人(8射)
1位 北原 悠人(上田A) (8中)
2位 坂巻 穂隆(豊科A) (7中)
3位 永井 汰季(東海大諏訪B) (7中)
4位 原 颯太(松本美須々) (5中)
5位 小林 龍弥(松本嶺ヶ崎D) (5中)

団体の部(24射)
1位 豊科A(山田蒼天、丸山悠陽、坂巻穂隆)
16中
2位 上田A(山口挨拶、永山琉梧、北原悠人)
15中
3位 東海大諏訪B(永井汰季、日比野弘翔、小松拓未)
12中

第44回 長野市市民体育弓道大会

令和6年10月13日(日) 長野運動公園弓道場
参加人数・一般45名

一般個人(8射)
1位 藤澤 敏恵(美女達と優男) 6中

第48回 佐久市弓道大会

令和6年10月14日(月・祝) 駒場公園弓道場
参加人数・高校73名、一般53名、合計126名

個人(8射)
▲高校(8射)
1位 中島龍之介(佐久長聖)
2位 羽生田剛志(小諸)
3位 下形 理乃(佐久長聖)
4位 山浦 嶺汰(佐久平総合)
5位 柳原 綾乃(佐久長聖)

一般(12射)
1位 原 洋(佐久)
2位 手塚 信幸(上小)
3位 平岩 真吾(佐久)
4位 新倉 公輔(佐久)
5位 藤田 正樹(小諸)

2位 笠井 信夫(運動公園F)
3位 辰野 正雄(R6教室)
4位 西村みゆき(チーム快調)
5位 靖雄(善光寺)

一般団体の部(24射)
1位 美女達と優男(大和侑高、押見恭子、藤澤敏恵)
2位 チーム快調(西村みゆき、横澤志織、細田尚)
3位 善光寺(小池君男、木元裕子、月岡靖雄)

第67回 松本市市民スポーツ大会「秋季大会」

令和6年10月14日(月・祝) 松本市弓道場
参加人数・高校124名、一般47名、合計171名

個人(8射)
▲高校
1位 大澤 啓介(美須々男子C)
2位 片桐 思凜(松商学園K)
3位 石田 龍坐(松商学園B)
4位 中山 心(松本深志E)
5位 高野 遥(松商学園K)

一般
1位 小杉 康彦(朝一番)
2位 黒澤 悠樹(建極)
3位 吉田 智之(吉田流)

令和6年度 第79回 県下南信弓道大会

令和6年10月14日(月・祝) 長野県飯田運動公園弓道場
参加人数・高校121名、一般59名、合計180名

個人(8射)
▲高校一年生
1位 林 拓翔(飯田風越)
2位 田中 桃心(阿智)
3位 菅沼 心音(飯田)
4位 寺澤 隼人(飯田風越)
5位 木下 奈緒(OIDE長姫)

▲高校二、三年生
1位 北原 悠人(上田)
2位 仲平 凜(飯田)
3位 渡辺 浩太(志学館)
4位 石橋由希菜(飯田)
5位 川上 貴史(阿智)

▲一般三段以下
1位 金子 夏暉(岡谷市)
2位 光澤 美春(上郷)
3位 渡村 久志(塩尻市)
4位 山本 優(上飯田)
5位 春日 真梨(塩尻市)

▲一般四段以上
1位 常盤 三男(松尾)
2位 岩原 祐貴(岡谷市)

第22回 千曲市長杯弓道大会

令和6年10月20日(日) 千曲市弓道場
参加人数・一般62名

一般個人(8射)
1位 蟹澤 史弥(上伊那)
2位 岩村 拓生(飯伊)
3位 蟹澤 絢音(上伊那)
4位 黒澤 悠樹(上田)
5位 持田 武二(佐久)

個人総合
1位 北原 悠人(上田)

団体の部
1位 飯田高校2年Bチーム(田中凜咲、仲平凜、石橋由希菜)
2位 下谷Eチーム(岩原祐貴、伊藤益瑠、金子夏暉)
3位 池田OIDE志学館チーム(酒井大貴、手塚新太、渡辺浩太)

第67回 信州上田城弓道大会

令和6年10月27日(日) 上田市城跡公園弓道場
参加人数・100名

一般個人(8射)
1位 蟹澤 史弥(流離)
2位 小田切祐典(須坂弓道会)
3位 小島 弓佳(上田HSN)
4位 黒岩 宥人(飛び入り参加)
5位 保科 良介(上田HSN)

一般団体の部(24射)
1位 上田HSN(小島弓佳、小島樹、保科良介)
2位 飛び入り参加(坂口光広、柳澤真純、黒岩宥人)
3位 流離(蟹澤絢音、蟹澤史弥、蟹澤契太)

第67回 松本市市民スポーツ大会「秋季大会」

令和6年10月14日(月・祝) 松本市弓道場
参加人数・高校124名、一般47名、合計171名

個人(8射)
▲高校
1位 大澤 啓介(美須々男子C)
2位 片桐 思凜(松商学園K)
3位 石田 龍坐(松商学園B)
4位 中山 心(松本深志E)
5位 高野 遥(松商学園K)

一般
1位 小杉 康彦(朝一番)
2位 黒澤 悠樹(建極)
3位 吉田 智之(吉田流)

第44回 長野市市民体育弓道大会

令和6年10月13日(日) 長野運動公園弓道場
参加人数・一般45名

一般個人(8射)
1位 藤澤 敏恵(美女達と優男) 6中

第67回 松本市市民スポーツ大会「秋季大会」

令和6年10月14日(月・祝) 松本市弓道場
参加人数・高校124名、一般47名、合計171名

個人(8射)
▲高校
1位 大澤 啓介(美須々男子C)
2位 片桐 思凜(松商学園K)
3位 石田 龍坐(松商学園B)
4位 中山 心(松本深志E)
5位 高野 遥(松商学園K)

一般
1位 小杉 康彦(朝一番)
2位 黒澤 悠樹(建極)
3位 吉田 智之(吉田流)

令和6年度 第79回 県下南信弓道大会

令和6年10月14日(月・祝) 長野県飯田運動公園弓道場
参加人数・高校121名、一般59名、合計180名

個人(8射)
▲高校一年生
1位 林 拓翔(飯田風越)
2位 田中 桃心(阿智)
3位 菅沼 心音(飯田)
4位 寺澤 隼人(飯田風越)
5位 木下 奈緒(OIDE長姫)

▲高校二、三年生
1位 北原 悠人(上田)
2位 仲平 凜(飯田)
3位 渡辺 浩太(志学館)
4位 石橋由希菜(飯田)
5位 川上 貴史(阿智)

▲一般三段以下
1位 金子 夏暉(岡谷市)
2位 光澤 美春(上郷)
3位 渡村 久志(塩尻市)
4位 山本 優(上飯田)
5位 春日 真梨(塩尻市)

▲一般四段以上
1位 常盤 三男(松尾)
2位 岩原 祐貴(岡谷市)

第22回 千曲市長杯弓道大会

令和6年10月20日(日) 千曲市弓道場
参加人数・一般62名

一般個人(8射)
1位 蟹澤 史弥(上伊那)
2位 岩村 拓生(飯伊)
3位 蟹澤 絢音(上伊那)
4位 黒澤 悠樹(上田)
5位 持田 武二(佐久)

個人総合
1位 北原 悠人(上田)

団体の部
1位 飯田高校2年Bチーム(田中凜咲、仲平凜、石橋由希菜)
2位 下谷Eチーム(岩原祐貴、伊藤益瑠、金子夏暉)
3位 池田OIDE志学館チーム(酒井大貴、手塚新太、渡辺浩太)

ねりんピックはばたけ鳥取2024

優秀賞 長野県

第75回全日本弓道遠的選手権大会

令和6年10月27日(日)

栃木県ユウケイ武道館弓道場

▲男子の部

2位 亀岡 英司(長野県)

第35回国宝松本城奉射弓道大会

令和6年11月3日(日) 松本市弓道場

1位 中島 冬萌(長野県)

2位 大森 翔子(長野県)

3位 林 和恵(岐阜県)

第54回北信越弓道選手権大会

令和6年11月10日(日) 小松市武道館弓道場

▲団体の部

▲男子有段者の部

1位 長野県・蟹澤契太、福澤貴二、藤森千友貴

▲称号受有者の部

2位 長野県(小田切祐典、内山寿美、永藤聡)

▲個人の部

▲男子有段者の部

1位 蟹澤 契太(長野県)

2位 藤森千友貴(長野県)

▲女子有段者の部

2位 小島 弓佳(長野県)

▲称号受有者の部

3位 小田切祐典(長野県)

第43回飯伊地区高等学校弓道大会(ライオンズ大会)

令和6年11月17日(日) 飯田運動公園弓道場

参加人数・高校148名

▲個人の部(8射)

▲高校男子

1位 関島 橙哉(下伊那農業)

2位 林 拓翔(飯田風越)

3位 長谷川 蓮(飯田OIDE長姫)

4位 市瀬 理玖(飯田)

5位 寺澤 遠佑(飯田風越)

▲高校女子

1位 平沢かりん(下伊那農業)

2位 熊谷かなで(飯田女子)

3位 今村 侑月(飯田)

4位 玉本 利帆(飯田女子)

5位 森本 亜純(飯田風越)

▲団体の部

▲高校男子

1位 下伊那農業(近藤凜空、長谷川朔夜、関島橙哉)

2位 飯田OIDE長姫(村澤敬吾、丸山大貴、長谷川蓮)

3位 飯田(村澤和歩、木下和季、市瀬理玖、竹村花凜)

▲高校女子

1位 飯田女子(熊谷かなで、玉本利帆、北原和子)

2位 飯田(海部美羽、上田悠月、今村侑月)

3位 下伊那農業(平沢かりん、澤田侑奈、竹村花凜)

令和7年わたしが輝く国スポ2025弓道競技長野県成年男女一次選考会

令和6年11月24日(日) 塩尻市弓道場

参加人数・男子24名、女子15名

▲選手

▲成年男子

黒岩 宥人(上小) 小田切祐典(須高)

岩村 拓生(飯伊) 保科 良介(上小)

蟹澤 契太(上伊那) 星野 拓翔(佐久)

平岩 真吾(佐久) 藤森千友貴(上小)

登内 琉真(高遠高校) 岩原 祐貴(諏訪)

後藤 友作(須高) 小島 樹(上小)

▲成年女子 黒澤 悠樹(上小) 蟹澤 史弥(上伊那)

篠原 沙知(佐久) 平澤絵里子(飯伊)

小田切奈々(須高) 小島 弓佳(上小)

岩村 綾(飯伊) 中島 冬萌(長野)

松井 邦江(松本) 平澤 萌(飯伊)

井堀 希唯(松本) 藤澤 敏恵(長野)

山本 優(飯伊) 村田枝美佳(上伊那)

野辺山洗心大会

令和6年11月30日(土)・12月1日(日)

帝産ロッヂ

1位 岩村 拓生(飯伊)

2位 滝沢 勇馬(射水) 近の18中・遠的20中・合計38中

3位 蟹澤 契太(上伊那) 近の18中・遠的18中・合計36中

4位 藤森 千友(上小) 近の19中・遠的17中・合計36中

5位 保科 良介(上小) 近の18中・遠的16中・合計34中

6位 小島 弓佳(上小) 近の18中・遠的16中・合計34中

昇段昇格者

▲「北信越地区」臨時中央審査会

▼錬士の部

村田 聡 (五段 長野支部)

荒井美由紀 (五段 上小支部)

▲「関東地区」臨時中央審査会

▼錬士の部

小林 恒太 (五段 安曇支部)

▲「関東地区」錬士臨時中央審査会

▼錬士の部

茅野 祐子 (五段 松本支部)

ちゆんちゆ

自然体と対称性

「左右すべての活動が相対的であり、対応的であるのが自然体の法則」と言われるが、この結果の一つとして残心での身体(の形)の字)がある。これは対称性の観点で言うと鏡映対称Csと呼ばれるものである。

人の身体、例えば、手足は胴体に対して球関節で繋がっているため、その動きは回転現象の性質で説明できることが多い。肘や膝の関節は一軸関節であり、右手の飛びなどは前腕の回転運動である。こういう回転の動きは「自然体」的な文脈で考えるとどうなるか。

自然体の法則を対称性と拡大解釈してみる。我々のような大きい物体の立体的、平面的な回転は、リ一群と呼ばれるそれぞれSO(3)やSO(2)という対称性の支配を受けている。神様は、世の中の現象の背後に何かしら対称性による説明を潜ませており、一見、対称性とは関係なさそうな動きも例外ではない。

こういう残心などにまつわる対称性、シンメトリーは、鏡映対称のような見た目の美しさで議論しがちだが、離れ、残心のような静動の背後にもやはり対称性による影響がある。こは射法八節の中でも難しい所であると思われるが、この困難さは大元を辿ると回転運動を説明する対称性の複雑さであると解釈できる。このように対称性は美しさの元にもなっているが、実は難しさの原因にもなっている。

上伊那支部 手塚信一郎

